



**国際協カフェスタ**

**地球市民どんたく 2012**

**2012年11月10日(土) ▶ 11日(日)**

**アクロス福岡2階 交流ギャラリー・セミナー室**

**福岡市中央区天神1-1-1**

**11:00~17:00**

**入場  
無料**

主催：「地球市民どんたく2012」実行委員会、公益財団法人福岡国際交流協会

共催：独立行政法人国際協力機構九州国際センター（JICA九州）、福岡市

協賛：公益財団法人西日本国際財団

後援：外務省、特定非営利活動法人九州海外協力協会、財団法人福岡県国際交流センター  
朝日新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、読売新聞社

協力：財団法人太宰府市国際交流協会、糸島市国際交流協会、宗像地域国際交流連絡協議会、  
総合学園ヒューマンアカデミー福岡校



FUKUOKA ASIAN MONTH

## 地球市民どんたくについて（コンセプト）

経済や環境など国際的な相互依存関係が強まる中、国際協力・国際交流に対する市民の理解や関心を高めるとともに、地元福岡で活動するNGO等の相互ネットワークの構築を目的に毎年このイベントを開催してきました。14回目を迎えた2012年は「私×=世界の笑顔」のサブタイトルの下、世界が笑顔になるために私たちに何ができるかを、参加者一人ひとりが考える契機となるようなイベントを目指しました。



### ■ 組織

福岡をベースに国際協力・国際交流活動を行っているNGOなど20団体（JICA九州を含む）で実行委員会を組織し、例年通り公益財団法人福岡国際交流協会が事務局を務めました。

### ■ 企画・運営

今年度は、それまで事務局や一部団体（運営委員会）が主導する形で進めていた企画・運営を、参加団体全体で主体的に行うという形に改めた昨年度の経験を基に、各団体が更に積極的・自発的に取り組みました。3月の準備会議に始まり開催日の直前まで10数回の会議に、毎回8割以上の団体が参加して活発な意見交換を繰り返し、会場ディスプレイや付随イベントの企画運営など様々な役割、具体的作業も分担しつつ、参加団体の総意としてのイベントを作り上げました。また、ボランティアとしてご参加いただいた高校生からシニア世代まで延べ28人の皆さんには、2度の事前研修会後、当日のイベント会場でスタンプラリーやワークショップ、民族衣装着付けやお茶コーナーなどの運営に多大な貢献をしていただき、会場MCとしてご協力いただいた「総合学園ヒューマンアカデミー福岡校」の6人の学生さんには会場を大いに盛り上げていただきました。



# NGO活動紹介ブース

日時:11月10日(土)、11日(日) 11:00~17:00  
会場:アクロス福岡2階 交流ギャラリー

10日は16団体、11日は20団体(参加団体総数は20団体)が出展し、それぞれ写真パネルの展示や、資料の配付等で日頃の活動内容を紹介し、またフェアトレード商品などの販売を行いました。(2日間で約1,000人の来場)



## ■ メッセージコーナー

今年のサブテーマ「私×=世界の笑顔」は、世界が笑顔になるために私たち一人一人に何が出来るかを共に考えることをめざしたものでした。そこで、来場者の皆さんに自分のを考え、そのメッセージを残していただく場所を作りました。ボードは沢山のメッセージで埋め尽くされました。



## ■ スタンプラリー

出展団体の各ブースで簡単なクイズに答えてスタンプをもらい、全ブースのスタンプが揃ったら抽選で景品が当たるスタンプラリーを今年も実施しました。参加者の皆さんからは楽しみながら様々な団体の人たちと言葉を交わし、活動の実際を知ることができてとても良かったと好評でした。



## 付随イベント

### ■ 震災チャリティー・お茶コーナー

今年は、様々な国の珍しいお茶を1杯100円で飲めて、東日本大震災の被災者支援もできるお茶コーナーを設けました。提供したのは、モンゴルの塩茶、バングラデシュのミルザプール紅茶、南アフリカのルイボス&ハニーブッシュティー、カンボジアのレモングラスティ、中国の特級鉄観音茶の5種類。多くの方々に「美味しかった。」「ゆっくりできて良かった。」と喜んでいただき、また募金も沢山集まりました(2日間総額13,800円)。



### ■ 民族衣装着付体験コーナー

例年大好評の民族衣装コーナーには、今年も多くの来場者がありました。今回、チャイナドレスやチマチョゴリ、バングラデシュのサリーなどの定番衣装に加え、キルギス、ウズベキスタン、モンゴル、ヨルダン、コロンビアなどの衣装も登場し、全部で11カ国20着のバラエティーに富んだラインナップになりました。また、和服を含め男性用の衣装も増え好評でした。お気に入りの衣装を選んで着ていただいた後は、会場内で記念写真を撮影してプレゼント。皆さんに大変喜んでいただきました。



### ■ 民族衣装ファッションショー

会期中1日1回、民族衣装のファッションショーを開催。ボランティアや青年海外協力隊OBの皆さんがモデルとなり、およそ10カ国の様々な衣装を着てランウェイを歩くと、会場内は一気に華やかになり、観客から大きな拍手が起こりました。



### ■ 震災チャリティー・オークション

イベントの終わりに、参加団体から提供された品物のオークションを行いました。新鮮な無農薬野菜からシルクのスカーフまで様々な品物が競り落とされ、集まったお金(8,150円)は東日本大震災の被災者支援の募金となりました。



### ■ 非常食セットの配布

久留米市の聖マリア病院に備蓄されていた非常食セット(消費期限が過ぎたばかりのもの)を会場で配布しました。これは、貴重な物資を無駄にせず、また様々な災害被災者に心を寄せる機会とすることを目的に行いました。



### ■ 世界のコインワークショップ

世界各国のコインをどこの国のものかを考え国別に分ける世界のコインワークショップ。大人も子どもも遊びながら世界に触れる体験をしていただきました。



## 来場者の声

- 国際協力をしてみたいので詳しいことを聞く良いチャンスでした。【50代・女性】
- スタンプラリーでたくさんの人から様々な話を聞くことができ、とても刺激を受けました。【20代・男性】
- 普段、日本以外の国の問題や現状に目を向けることが少ないので、自分にできることは何か考えさせられました。【20代・女性】
- まだまだ知らないことが多いです。もっと知りたいと思いました。【50代・男性】
- 通りすがりで、子どもが興味を引かれて立ち寄りました。スタンプラリーで子どもも私も楽しく知識が増え、いい勉強になりました。お茶もおいしかったです。今度はカメラを持ってきて民族衣装を着たところを写真にとりたいと思います。【30代・女性】
- 中1ですが、分かりやすい説明で、おもしろかったです。【10代・男性】
- ボランティアや各ブースのスタッフの方々が生きいきしていたのがよかった。自分も社会活動に参加したいと思うきっかけとなった。【20代・女性】
- 福岡以外でもぜひ開催していただきたいです。今回は、四国から地球市民どんたくのために来ました。また来たいと思います。【20代・女性】

# ワークショップ

日時:11月10日(土)、11日(日) 11:00~17:00  
会場:アクロス福岡2階 セミナー室1、2

参加6団体(10日、11日各3団体)によるワークショップと東北山形のNGOから講師を迎えた特別企画ワークショップを開催。一般来場者が国際協力・国際交流について知り、また今後の自発的な行動に結びつけていただけるような講演や体験型のプログラムなどを実施し、幅広い年齢層の方々にご参加いただきました。(2日間で延べ247人の参加)

## 11月10日(土)



**砂漠緑化の話とバスポム作り**  
砂漠緑化団体「オールドスの風」  
11:00~(60分)



**講演「低線量被曝について考える」**  
NPO法人チェルノブイリ医療支援ネットワーク  
13:00~(60分)



**二胡、静吟、太極拳、中国語体験**  
日本中国友好協会福岡支部  
15:00~(90分)

## 11月11日(日)



**ワークショップ「援助する前に考えよう」+青年海外協力隊OBの体験談**  
JICA九州  
11:00~(90分)



**特別企画ワークショップ「東日本大震災・世界からの支援」**  
講師:認定NPO法人IVY(アイビー)  
理事・事務局長 安達三千代氏  
12:30~(120分)



**ワークショップ「おいしいチョコレートの実」**  
(特活)ACE(エース)  
15:00~(100分)



**中国茶試飲、二胡演奏、漢詩鑑賞、留学生と中国語会話**  
(特活)中国農村部教育支援会  
14:00~(90分)

## 数字で見た「地球市民どんたく2012」

### ● 来場者 延べ約1,000人(10日、11日とも約500人)

- ★来場者について、数そのものは昨年比で微増でしたが、お一人お一人の滞留時間は長かったようです。これは、スタンプラリーに熱心に取り組まれたり、お茶コーナーでゆっくりされたりする傾向があったためと思われます。
- ★来場者の約7割が初めてで約2割の方は3回以上、来場のきっかけは約3割がチラシを見て、4割が友人・NGOの人に誘われてでした。会場の立地条件から通りすがりの来場者がなかなか見込めないため、今後も事前の広報に力を注ぎ一人でも多くの方に目的意識を持って来場いただけるようにする必要性を強く感じました。
- ★来場者の年齢は第1位が20代、続いて40代、男女比は3対7で女性が大層に上回っていました。

- スタンプラリー参加者 222人(10日:107人、11日:115人)
- ワークショップ参加者 247人(10日:174人、11日:73人)
- 民族衣装着付け参加者 75人(10日:36人、11日:39人)
- 物販売り上げ 254,930円

今回は、16団体がフェアトレード商品などをブースで販売し、各団体の貴重な活動資金を得ることができました。

### ● 募金など

未使用ハガキ56枚、使用済み切手1,260g、使用済みインクカートリッジ10個、使用済みプリペイドカード100枚の他、ベルマークとUSドルをはじめとする外貨コインも多数集まりました。参加団体の活動に役立させていただきます。

### ● 東北震災募金

チャリティーお茶コーナーとオークションで、21,950円が集まりました。これについては、今回特別企画ワークショップの講師を派遣していただいた山形のNGO「認定NPO法人IVY(アイビー)」の東北震災被災者支援活動に全額寄付させていただきます。

# NGO紹介ブース 参加団体紹介

アジアグッズ マーケット

## アジア開発銀行福岡NGOフォーラム

TEL/FAX 092-920-1873  
http://fna.nngo.jp/

【11/10・11】

いろいろな形の国際協力をご紹介します～  
アジア少数民族の伝統手芸を受け継ぐ民芸品の販売と、「政策提言活動」のパネル展示しました。

インドネシア留学生と一緒に教育支援活動

## インドネシアの子供の教育を救う会

TEL 092-738-1830 FAX 092-738-1833  
http://www.temanhati.net

【11/10・11】

インドネシアには、経済的な理由などで義務教育を続けられない子どもたちがたくさんいます。インドネシアの文化を紹介するインドネシア・カルチャーデイなどを開催し、収益金を奨学金として子どもたちに届けています。

STOP児童労働！世界の子どもに笑顔を

## (特活)ACE(エース)/ACE福岡グループ

TEL 03-3835-7555 FAX 03-3835-7601  
http://acejapan.org

【11/10・11】

ACEはインドとガーナ、日本で、子どもたちを児童労働から守るための活動をしています。売り上げの一部が寄付になる、チョコやコットン製品などのオリジナル商品を販売しました。

福岡から世界へ、世界から福岡へ

## (特活)NGO福岡ネットワーク

TEL/FAX 092-405-9870  
http://funn.nngo.jp/

【11/10・11】

国際協力・交流分野の各分野で、地球市民的観点から活動に取り組む団体・個人のネットワーク組織です。国際協力の写真・関連書籍物品など展示販売、加盟団体の活動紹介、NGOに関する問い合わせ回答などを行いました。

人材育成、国際貢献、環境保全で50年

## 公益財団法人オイスカ西日本研修センター

TEL 092-803-0311 FAX 092-803-0322  
http://www.oisca.org

【11/11のみ】

1961年に設立して今年で51年。アジア、太平洋諸国から研修生として招聘し農業や日本語を指導し、リーダーとして育成するための研修を行っています。今年10カ国1地域から15名の研修生を受け入れています。ブースでは西日本センターで生産している無農薬、無肥料の新鮮で安心、安全な野菜を販売しました。

国際協力・交流を行う20の団体の活動を紹介し、民芸品・飲食物などの販売も行いました。  
※【 】内は活動紹介ブースの出展日です。  
※(特活)とは、特定非営利活動法人(=NPO法人)の略式表記です。

地雷原の子どもたちと共に

## 一般財団法人カンボジア地雷撤去キャンペーン

TEL 092-833-7575 FAX 092-833-7677  
http://cmc-net.jp

【11/10・11】

今なお続くカンボジアの地雷被害の現状と地雷撤去活動の様子を写真パネルで紹介。書籍やポストカード、日本では珍しいカンボジア雑貨(クロマー、バッグ、T-shirts、布絵)などを販売し、楽しいチャリティーゲームも行いました。なお物販の収益は、地雷撤去及び被害者に使われます。

現地に住んで、住民と共に！青年海外協力隊

## (特活)九州海外協力協会

TEL 092-415-6536 FAX 092-415-6518  
http://www.joca-kyushu.or.jp

【11/10・11】

当協会は、元青年海外協力隊員で組織されています。青年海外協力隊が発足して47年、福岡からも約1,700人の方々が参加されています。そんな隊員の活動の様子や、帰国後の活躍をご紹介します。

月に一度のコーヒー代節約でできる里親活動

## くるんて～ぷの会

TEL/FAX 092-586-4650  
http://krungtep.nngo.jp/

【11/10・11】

タイ・バンコクのクロントイ地区にあるスラム街で現地NGO「ドゥアン・プラティープ財団」を通じ経済的理由などで学校に行けない小・中学生などへの教育里親活動。活動紹介とタイの手工芸品の販売を行いました。

みんなで作る“笑顔”の世界

## 独立行政法人 国際協力機構九州国際センター (JICA九州)

TEL 093-671-6311 FAX 093-663-1350  
http://www.jica.go.jp/kyushu/

【11/10・11】

世界中が笑顔になるためには？JICA事業では市民の皆さんにもご参加いただける国際協力のプログラムがあります。国際協力が皆さんの身近なところにあるかも。ブースでは青年海外協力隊経験者が皆さんをお迎えしました。

ルワンダ。孤児・教育・自立・希望を掴むまで

## 国連NGO世界平和女性連合

TEL 092-533-2961 FAX 092-533-2963

【11/11のみ】

ルワンダ(アフリカ)の孤児の自立支援のために建てられたニューホープ技術専門学校が、今年14年目を迎えました。ルワンダの学校支援のために、ルワンダの民芸品や手作り小物のバザーを行い、アフリカの香りを感じていただきました。



ご来場ありがとうございました♪

塩を売って線を買う男

### 砂漠緑化団体「オルドスの風」

TEL 0940-72-9660 FAX 0940-72-9666  
http://banben.jp

【11/10・11】

内モンゴル・オルドスの砂漠緑化を、モンゴル岩塩、麦飯石、NS乳酸菌、天然重曹、クエン酸、黒茶などの天然素材の販売を通じて実現します！

国交回復40年、今こそ草の根の交流を大切に

### 日本中国友好協会 福岡支部

TEL/FAX 092-761-0604

【11/10・11】

日中不再戦を大きな柱に、戦争の歴史や体験を正しく伝える活動と中国への幅広い関心に応えて、中国語講座、太極拳教室をはじめ多彩な楽しい文化的活動を展開しています。

人は変わる。チャンスで変わる。

### (特活) ソルト・パヤタス

TEL/FAX 092-939-3633  
http://salt.or.tv/

【11/10・11】

ソルトは、フィリピンのゴミ山周辺で生活する人たちの自助努力をサポートしてきて18年に至っています。学びたい子どもたちに教育を、働きたい女性たちにクロスステッチを、懸命に努力する大人と子どもと、共に生きたいと願う日本の皆様との交流を促進するスタディーツアーを行っています。ブースでは、現地の生活、人々の取り組み、日本人の参加、分かち合われる喜びを感じていただきました。

若者の輝き未来を見つめる国ベトナム

### 日本ベトナム友好協会 福岡支部

TEL/FAX 092-861-0455  
http://nvyk.jp

【11/10・11】

長い苛酷な戦争を耐え抜き、今は活気に溢れたベトナム。美しい風土と豊かな文化と歴史を誇るベトナム。そして若い笑顔がまぶしい国ベトナム。ベトナムの素顔と私たち友好協会(支部)の活動をご紹介します。

お買い物で楽しく、チェルノブイリ支援!

### NPO法人 チェルノブイリ医療支援ネットワーク

TEL/FAX 092-944-3841  
http://www.cher9.to/

【11/10・11】

旧ソ連で起きたチェルノブイリ原発事故の被災地ベラルーシ共和国で医療活動に取り組んでいます。ブースでは、被災者による手作り雑貨、売り上げの一部が活動費となるフェアトレードコーヒー、紅茶などを販売しました。

九州唯一の国連機関ハビタットの活動紹介

### ハビタット福岡市民の会/認定NPO法人 日本ハビタット協会

TEL 090-6770-2481 FAX 0942-41-2080  
http://cnhf.nngo.jp

【11/10・11】

アジア太平洋地域の人間居住や都市問題に、住民や自治体とともに解決法を考え取り組んでいる国連ハビタット福岡本部の活動を、勉強会やスタディーツアーなどを通して学習し、市民レベルで広報活動と募金活動を行い、支援の輪を広げる活動をしています。

子供たちの日中友好を福岡からサポートする

### (特活) 中国農村部教育支援会

TEL 092-522-9587 FAX 092-929-0208  
http://www1.bbq.jp/fukuokakango/

【11/10・11】

本会は2002年から中国農村部貧困地帯の小学生就学支援を開始し、千名以上の子どもをサポートしてきました。昨年の東日本大震災後は、中国の子どもたちの応援メッセージを訳して、被災地の子どもたちに届けました。両国の子供の友好交流の架け橋として、支援活動を続けていきます。

アジアの子どもたちの未来のために

### (特活) バングラデシュと手をつなぐ会

TEL/FAX 092-844-1369  
http://bangla.nngo.jp/

【11/11のみ】

バングラデシュの農村において「教育」「保健医療」「生活向上」の分野で国際協力活動に取り組んでいます。安全なお産と女性の自立を目指して、看護学校建設プロジェクトがスタートしました。

地域発、草の根の国際協力を一歩ずつ

### 日本国際ボランティアセンター 九州ネットワーク

TEL 092-921-0696 FAX 092-923-1850  
http://www.ngo-jvc.net

【11/11のみ】

JVC(日本国際ボランティアセンター)の趣旨に賛同し、福岡で自主活動をしています。現在はカンボジア農村の活動を支援、自分たちも保存食作りに挑戦中。ブースではJVC活動地で作られたクラフトを販売しました。

ウズベキスタンってこんな国!

### 福岡・ウズベキスタン友好協会

TEL 092-864-2420 FAX 092-843-1454  
http://www1.bbq.jp/fuku-uzu/

【11/10・11】

ウズベキスタンからの短期留学生の受け入れやウズベキスタン友好の旅の企画、首都タシケントにあるタシケント・福岡友好協会の支援、ウズベキスタンで日本語を教えている先生たちへの支援を行っているウズベキスタンとの友好団体です。

## ■チラシ、ポスターの製作・配布

チラシは13,000枚を印刷し、福岡市内の中学、都市圏の高校・大学、各公共施設、参加団体の関係先等に配布して広報に努めました。

来場者の約3割が、広報用チラシを見てこのイベントのことを知ったとのアンケート結果もあり、今後も、関心を持って手に取っていただけるようなチラシを作り、さらに多くの方々の目に触れるような配布方法を考え、実施する必要性を実感しました。



## ■ITの活用

今年も地球市民どんたくのウェブサイトを立ち上げたほか、他の様々なサイト(福岡国際交流協会、ふくおか協働ウェブ、ASUMIN WEB)やメルマガ(福岡国際交流協会、あすみんなメルマガ)を利用し、また関係者のFacebookなどインターネット媒体を通じての広報にも努めました。



## ■広報誌等への掲載

- ★ アジアムス公式ガイドブック
- ★ 福岡市政だより(10/15号)
- ★ 月刊情報誌「ACROS」(11月号)
- ★ 福岡国際交流協会情報紙「レインボー(英、中、韓)」(11/12月号)
- ★ 福岡市情報プラザ通信(11月号)
- ★ フクオカ・ビーキ(11/9号)



## ■ラジオ

- ★ ラブFM  
(10月第4週～11月第2週 Rainbow Plaza Information)

## ■新聞

- ★ 読売新聞(11/10 地域版、12/15 かわらばん)



## 「地球市民どんたく2012」を終えて



地球市民どんたく2012  
実行委員長  
**岩城 嗣郎**  
ACE(福岡グループ)

まず初めに2012年「地球市民どんたく」に関わって下さった、全ての皆さまに厚く御礼を申し上げます。開催までの間、ワーキング会議を重ねさまざまなアイデアや提案を検討しながら進めてまいりました。結果、今回は会場の飾り付けや民族衣装によるファッションショー、オークションなどの新しい企画も実施され、ヒューマンアカデミーのMC担当のメンバーの方も会場の雰囲気盛り上げて下さいました。「私×□ = 世界の笑顔」のテーマのもと、参加団体からはその目的や活動内容など、ご来場いただいた方々にお伝えし、その思いを共有出来たことと存じます。イベントは終わりましたが、「私×□ = 世界の笑顔」のテーマは引き続き私たちが持ち続けたいテーマでもあります。各団体の支援活動はそれぞれ異なっても、問題解決の根底にあるものは重なり合い、絡み合っていてそれらの状況を生み出しております。これからも共に思いを同じくし、協力しあいながら歩みを進めて行くことができれば幸いです。以上簡単ですが報告と御礼の言葉とさせていただきます。ありがとうございました。

発行 2013年2月

## 「地球市民どんたく2012」実行委員会事務局

〒810-0001 福岡市中央区天神 1-10-1 福岡市役所北別館 5F (公財) 福岡国際交流協会内

TEL: 092-733-5630 FAX: 092-733-5635

Mail: chikyushimin@rainbowfia.or.jp http://chikyushimin.jimdo.com/